

【分野名：数学、物理学、地球科学】

大 学 名	京都大学
拠点のプログラム名称	活地球圏の変動解明： アジア・オセアニアから世界への発信
中核となる専攻等名	理学研究科地球惑星科学専攻
拠点リーダー氏名	余田 成男
<p>《拠点形成の概要》</p> <p>本 COE プログラムの目的は、地球上の最大の変動域であるアジア・オセアニアを突破口として、「活地球圏」に関する世界最高水準の研究教育拠点を形成することにある。</p> <p>本拠点では、人間活動の時間スケール(1 秒から数千年まで)で変動し、人と自然の共生をはかる上で重要な空間領域(リソスフェアから超高層大気まで)を「活地球圏」として新たに定義し、そこでの変動を本拠点の主な研究対象として、フィールド研究からモデル研究までを融合した地球科学の発展と深化をめざす。</p> <p>「活地球圏」の変動現象は、多重の時間空間スケールで複合的に生じている点に特徴があり、従来の地球科学諸分野の枠組みを超えたものである。我々は、「同業異分野の研究者が混在する活地球圏を覗くルツボ」を形成することにより、これまで積極的に展開してきたアジア・オセアニアでのフィールド研究を一層発展させ、「地球の現代史」としての「活地球圏科学」を創生する。</p> <p>これらの研究活動を基軸に、理学研究科では「活地球圏科学」教育プログラムを実施する。また、海外協力校(インドネシア・バンドン工大)では国際教育プログラムを毎年実施して、国内外の有能な若手研究者を育成し、欧米に伍する地球科学分野での新たな極をアジア・オセアニアに構築することを目指す。</p> <p>本拠点は5つの学内組織からなるが、個々の組織のなかで与えられたテーマについて研究を進めるだけでなく、相互に密接な連携体制を具体的に組むことにより、多面的に地球の活動をとらえるための国際的研究教育拠点を形成する。</p>	